

## 第1回 青木村ふるさと公園（仮称）検討委員会 議事概要

日時 平成25年12月18日 19:00～21:30  
保健センター研修室

### ■村長挨拶

挨拶を兼ねて、検討にあたりお願いしたいこと、留意事項について

- ・公園は100年の大系で計画を。1世紀後にも誇れる公園に
- ・防災機能をもった公園を主に。最悪の事態に対して最善をとるのが私達の責務。
- ・道の駅あおきが隣接している有機的なつながりをもった公園に！
- ・「貧しくはないが豊かでない」財政状況の考慮を。
- ・朝も夜もきれいな景色が広がる場所。四方景色を活かしたい。
- ・水はけの悪い土地条件であり、排水が課題
- ・あとの使い勝手やソフト事業メンテナンスも考えた公園づくりに向けた提案を。

■前提 第一回目の検討委員会にあたり、事前に資料を配布しており、より多くの時間を意見発表に充てた

### ■事務局より資料説明

- ・公園整備に関する村の考え方
- ・整備方針・導入施設に関する検討資料

### ■資料・説明への質疑

- ・土地形状がいびつではないか。形が整うよう用地を取得できれば、活用の仕方も変わるのではないか。
- ・防災とはどんなイメージか？安全な避難場所として公民館があげられているが、現段階で安全ではないところもある。防災面で村が考えているものはあるか？
- ・何に主眼を置いた公園とするのか？ヘリ用のスペースを確保する場合、どのくらい敷地をとられるか？主としてどういう目的で使うか？

### ■公園整備内容への意見発表・アイデア交換

説明の内容、事前にお送りした記入シート等も参考にしながら、公園予定地の強みや課題を意識しながら、アイデアをいただいた。その概要は以下の通り。

- 様々な世代が癒され、認知症の方などの回復にも役立つ公園に。
- 道の安全確保を。とくに道の駅との横断部に信号・横断歩道の設置を。
- イルミネーションの場としても活用を。
- 子供の広場、どこかにモニュメント的な遊具を。
- 遠くからみても公園とわかる場にして、ぼっと寄りたいたいと思うような場所に。
- 子供たちがつくるときに参加できるしかけを。
- 子供たちがふるさとを想うエリアを分けてつくっては？

- 梅の木を植えて(みかえり漬けのPRも兼ねて)
- 水路の活用、水車小屋の設置。そば引きを行ってはどうか。
- 道の駅やこの公園からほどよい距離にある各所、みどころをつなぐような案内板の設置
- 「音のある公園」。屋外ステージもあればと思う。義民太鼓の練習もできる、その姿を見に知り合いも訪れる。若い子たちの軽音練習の場にもなれば。
- 芝生の広場ならパラグライダーの着地場所としても活用可能。
- 道の駅と公園の両施設の行き来の安全を第一に。
- 別所温泉に訪れる家族連れに「道の駅にある大きな公園」として案内できる可能性があり、期待したい。
- 青木っ子5カ条”をどこかに掲げてはどうか
- 様々な世代や来訪者も行きかう場になると思うので、日陰や程よく休める場も必要。
- 健康づくりを兼ねた遊具。地味ながら体力を増強できるようなもの
- ハコ物をつくるにしても良く考えて進めてもらいたい。
- 全部をつめ込もうとせず、なるべく広くしながら、いろいろな周辺施設とのつながりを確保できる場に。
- 上田から来る人向けに大きな看板で、子供でも分かる案内を。奥へ呼び込む作戦で。
- 集客を考えると駐車場のスペースをどう考えるか？
- 周辺も含め、過去～現代への駅(うまや)地点としてこの公園をとらえたい。東山道から並木道、間に水車小屋や四阿。街道筋の区間の演出を経てこの公園が現代、となるような流れのある一体の景観をつくれたらよいと思う。
- 遊具製作などにあたって、村の機械工などのもつ様々な技能も取り込んではどうか？
- 人口を増やすためには0.3haのエリアの方に、住みたい人向けの住宅はどうか？
- 広い空間を、ポンプ操法を訓練できる場としても活用できるような形で
- 国道の横断部は歩道橋で対応すべきはないかと思う。当然、スロープで。
- 上田には歩道橋がない。弱者向けの歩道橋はスペースが必要。歩道橋は階段で不便、現在はそういう状況になりつつあると思う。
- 走れるコースもあるとよい(創造館)。上田公園にも健康づくりを意識した遊具がある。
- 公園は自然のままにして、まわりに木を植え過ぎず、景色をみせてはどうか？
- 防災と安らぎの両立がうまくできるか？村内にはヘリポート指定地は4つあるが災害によっても違う。4つでは間に合わないか？双発の大きなヘリは現在の4つではできないか？なども検討いただいた方がよいと思う。
- いい施設をつくれれば、毎回行きたい、になる。外から多くの人を受け入れる姿勢がいる。

## ■今後の予定

1月10日 進士先生の特別講演会

1月24日 第2回委員会

より具体的な議論ができるよう、事例や図面等を用いての検討を行う予定。